

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

Table with 4 rows: 事業所番号 (0193000064), 法人名 (株式会社 e-ケア), 事業所名 (グループホーム あんしん・ふらの(すばる)), 所在地 (富良野市末広町6番22号カワムラメディカルビル), 自己評価作成日 (令和3年12月26日), 評価結果市町村受理日 (令和4年2月7日)

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・鉄筋3階建てで、1階はデイケア・保育施設があり、2階にはグループホームあんしんふらの(2ユニット)があり、3階にはサービス付き高齢者向け住宅が開設されています。・整形外科や老人保健施設が併設されています。・また、バイタルリンクの導入により、多種目の職員や医療と連携を図っております。・グループホームはスーパーや商業施設などがあり、現在は外出は難しいですが、安心した生活が送れる事ができます。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

Table with 2 columns: 基本情報リンク先URL, [https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action\\_kouhyou\\_detail\\_022\\_kan=true&JivgyosyoCd=0193000064-00&ServiceCd=320](https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action_kouhyou_detail_022_kan=true&JivgyosyoCd=0193000064-00&ServiceCd=320)

【評価機関概要(評価機関記入)】

Table with 3 rows: 評価機関名 (特定非営利活動法人 福祉サービス評価機構Kネット), 所在地 (札幌市中央区南6条西11丁目1284番地4 高砂サニーハイツ401), 訪問調査日 (令和4年1月21日)

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

1)、ホームの環境と運営状況について; 鉄筋3階建て、福祉・医療・高齢者住宅等と共にホームがあり、他の専門機能と連携した介護施設運営がなされ、かつ、交通至便で近隣商業街等との利便性ある生活環境にあり、行政・保健所、消防署等の諸機関も近くにあり、連携している。2)、アウトカム評価と個別評価について; アウトカム評価は真摯に現状を評価しており、健康・医療・安全性・安心感等の個別対応、家族の意向把握等に高い配慮を示し、高齢化・高介護度の状況での、外出支援等の困難さに対応。また職員の配慮ある介護姿勢とその結果の満足度の高さを示している。(家族のアンケート結果にも同じ評価が示されている。)3)、運営推進会議の開催状況; 会議開催はコロナ禍で、書面等による報告に留めて、関係者との理解を得よう努めている。4)、地域との関係機関・住民組織等との連携について; 利用者・職員にとり、最も家族との対話や連絡による相互理解に重点を注いでいる。運営会議や家族の意向を含めて、職員組織は職位の専門性ある連携に努め、防災機関との連携もよい。なお、住民組織等外部関係者との協力関係強化を期待したい。

Table with 4 columns: 項目, 取り組みの成果 (該当するものに○印), 項目, 取り組みの成果 (該当するものに○印). Rows 56-62 detailing service outcomes and staff performance.

自己評価及び外部評価結果

| 自己評価              | 外部評価 | 項目   | 自己評価   | 外部評価  |                   |
|-------------------|------|--|--|---|-------------------|
|                   |      |  | 実施状況   | 実施状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>I.理念に基づく運営</b> |      |  |  |   |                   |
| 1                 | 1    | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている   | スタッフルームと玄関に掲示しており、理念の共有、実践に活かせるよう努力している。           | 「あなたの心に寄り添い、あなたらしく安心した生活を送れる事を保証します。」をケア理念に、職員はこれを共有し、相互の実践に生かすよう、職種間の連携ある協働に努めている。               |                   |
| 2                 | 2    | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している   | コロナ禍の影響により、交流の機会がなかなかない。                           | 施設が、都心部にあって、多様な業界があり、地域住民組織の希薄さやその連携が難しいのかもしれない。なお、医療・介護・福祉複合施設として、いかに地域住民組織と連携するかを課題とされるよう期待したい。 |                   |
| 3                 |      | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている   | 運営推進会議など通して活動内容などを報告しているが、コロナ禍の影響で書面上にて報告させて頂いている。 |   |                   |
| 4                 | 3    | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている                                      | 2カ月に一度行っているが、新型コロナの影響で家族様、地域代表者などに書面にて報告し意見を頂いている。 | 2か月間のホーム利用者の介護状況、活動状況を統計表や写真で示して、家族との関係や個々利用者の支援状況を議事録に纏め、関係者に報告して意見を求め運営の理解に努めている。               |                   |
| 5                 | 4    | ○市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる  | 地域ケア会議にて相談など行いながら連携を図っている。                         | 行政との定例地域ケア会議での課題報告する等、業務上の相談を協議して、行政の意向等を運営に活かすよう努めている。   |                   |
| 6                 | 5    | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 身体拘束防止委員会を設置し意見交換や状況報告をしている。ケア会議などでも情報共有している。      | ケアの実践を通じた事例を参考に、定例の身体拘束会議での検討協議の結果を、定例のケア会議等で報告している。職員はこれらの結果を参考に共有して、各職員の資質向上に活かしている。            |                   |
| 7                 |      | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている                                       | 虐待委員会を設置し虐待防止について話し合い、ケア会議等で情報共有している。              |   |                   |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目   | 自己評価   | 外部評価   |                   |
|------|------|--|--|--|-------------------|
|      |      |  | 実施状況   | 実施状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8    |      | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している    | 行政職員からの情報提供や資料を参考にしながらスタッフに周知し、活用できるようにしている。                     |  |                   |
| 9    |      | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                         | 相談時、契約等は随時説明を行っている。  |  |                   |
| 10   | 6    | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                      | あんしん便りを年4回作成し、状況などをお伝えしている。又、利用者様一人一人のご家族様へ最近のご様子を写真と共にお知らせしている。 | 年4回発行の「あんしんだより」は利用者個々の生活様様を写真を載せて説明し、また運営方針に係る面会規制緩和や面会前の抗原検査等の示唆など、家族の意向に沿った介護状況と関係の在り方が示されている。 |                   |
| 11   | 7    | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                      | 面談を行い、悩みなど聞き取りを行っている・定期的にケア会議を行い意見や提案を聞いている。                     | 職員は利用者・家族への基本対応「観察・傾聴・尋ねて・伝える」姿勢で介護情報を伝え、定例ケア会議で報告・記録して意見を述べ、適切な運営に努めている。                        |                   |
| 12   |      | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている      | 助成金を使用し研修や資格取得するなどの向上心を持って就業できるよう努めている。                          |  |                   |
| 13   |      | ○職員を育てる取り組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている         | コロナ禍の影響でリモートでの院内勉強会に参加し職員一人一人のケアの向上に努めている。                       |  |                   |
| 14   |      | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 新型コロナの影響で取り組みが出来ていない。  |  |                   |

| 自己評価                       | 外部評価 | 項目  | 自己評価   | 外部評価  |                   |
|----------------------------|------|---|--|---|-------------------|
|                            |      |   | 実施状況   | 実施状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |      |   |  |   |                   |
| 15                         |      | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 入居前に本人様、家族様に困っている事など聞き取り、話し合い環境や思いを伝えやすい環境作りができるよう努めている。     |   |                   |
| 16                         |      | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている            | 新型コロナの影響で面会が制限されており、リモート面会なども行い、電話でのご要望なども聞きながら、関係づくりに努めている。 |   |                   |
| 17                         |      | ○初期対応の見極めと支援<br>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている        | 入居前に事前に情報収集し、必要なサービスを職員間で話しあっている。                            |   |                   |
| 18                         |      | ○本人と共に過ごし支え合う関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                           | ご本人らしく落ち着いた環境作りを努めている。                                       |   |                   |
| 19                         |      | ○本人を共に支え合う家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている            | 家族様の協力を得て、関わりを持ちながらより良い環境作りを努めている。                           |   |                   |
| 20                         | 8    | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                        | 自室内には馴染みのある家具などを使用している。                                      | "地域共生を法的根拠"とする当事業の趣旨を踏まえ、家族の協力とその支援の下に、各自室の生活環境づくりがなされている。他に、地域カフェや定例行事での交流等があれば、支援状況の評価を期待したい。 |                   |
| 21                         |      | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                     | 孤立せずに関係性が円滑に出来るよう、職員が介入し、利用者様同士の交流に努めている。                    |   |                   |

| 自己評価                               | 外部評価 | 項目   | 自己評価  | 外部評価   |                   |
|------------------------------------|------|--|---|--|-------------------|
|                                    |      |  | 実施状況  | 実施状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22                                 |      | ○関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている                    | 必要に応じて家族様やご本人様の要望や相談を行っている。                                   |  |                   |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |  |   |  |                   |
| 23                                 | 9    | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している   | 利用者様の思いや以降を把握し、職員間で情報共有しより良いケアが実践できるよう取り組んでいる。                | 入所以来の観察・支援記録と共に個々の意向を把握して日常の動作や会話を通じて、その変化を職員相互が理解に努め、最適ケアの実践に努めている。                             |                   |
| 24                                 |      | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                       | 利用者様一人一人の生活歴を把握し、馴染みの生活が出来るよう努めている。                           |  |                   |
| 25                                 |      | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている   | 職員間で話し合いをしケアプランの見直しなど行い、問題点を見出している。                           |  |                   |
| 26                                 | 10   | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | サービス担当者会議を行い、利用者様一人一人に沿ったケアプランを作成している。                        | 職員は個々の介護計画に基づくモニタリング等を定例会で協議・対応の結果を記録。これらを含め、新たな計画作成には、各職位の意向を計画作成者を中心に纏め、家族等の意向も含め、介護計画を作成している。 |                   |
| 27                                 |      | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                        | ケース記録のほかに、職員用のノートを活用し利用者様の特変状況や連絡事項を職員間で共有している。               |  |                   |
| 28                                 |      | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる               | 整形外科 <sup>g</sup> 併設されており、利用者様がその都度の状況に合わせたサービスが提供できるよう努めている。 |  |                   |
| 29                                 |      | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している                         | コロナ禍の影響で地域交流などの機会が作れていないが、スタッフとの会話の中で情報得て支援している。              |  |                   |
| 30                                 | 11   | ○かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している                     | 併設している同法人のDrや看護師が直ぐに対応して頂き適切な医療を受けられるよう支援している。                | 利用者の医療対応については、当法人の総合的な医療・福祉機能との連携の下に、利用者個々の状況に応じた医師・看護師等による最適対応に努めている。                           |                   |

| 自己評価                             | 外部評価 | 項目  | 自己評価  | 外部評価   |                       |
|----------------------------------|------|---|---|--|-----------------------|
|                                  |      |   | 実施状況  | 実施状況   | 次のステップに向けて期待したい内容     |
| 31                               |      | ○看護職員との協働<br>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している                       | 併設されている病院の看護師と連携を図り、利用者様の状況を報告、相談し、適切な処置を受けて頂き支援している。 |  |                       |
| 32                               |      | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。  | 入院先の関係者と連携を図り、身体状況の把握や退院時のケアについて情報交換を行っている。           |  |                       |
| 33                               | 12   | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。 | 看取り介護に関して入居契約時に説明し、本人様、家族様の要望があれば看取り介護を支援している。        | 重度化・終末期の対応については、入所契約時の合意に基づき、基本的対応に努めるとともに、家族の要望に応じている。                  |                       |
| 34                               |      | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている  | 新型コロナの影響で救命講習会に参加できていないが、それまでは、毎年救急講習会に参加し知識を身につけている。 |  |                       |
| 35                               | 13   | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている  | 定期的に消防が立会いの下避難訓練や消火訓練を行っている。また、水害や地震を想定した訓練も行っている。    | 災害対応にあっては、定期的な防災機関の指導の下に、想定した訓練を実施するとともに、内部組織・防災設備機能の点検や職員の役割分担等を確認している。 | 地域組織との協力体制等の評価も期待したい。 |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |      |   |   |  |                       |
| 36                               | 14   | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている   | 安心して生活が送れるように利用者様一人一人に寄り添い、その方に合った声掛けを行っている。          | 職員は、ケア理念に基づく利用者本位の介護姿勢に基づき、真摯に個々の利用者として、個々の意向や想いに添うよう努めている。              |                       |
| 37                               |      | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている  | 利用者様本位で支援できるような関りに努めている。                              |  |                       |
| 38                               |      | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している                                    | 利用者様一人一人のペースに合わせ、希望などに沿って支援している。                      |  |                       |
| 39                               |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している   | 好みの服を着て頂いたり、その人らしい身だしなみにできるよう支援している。                  |  |                       |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目   | 自己評価   | 外部評価  |                   |
|------|------|--|--|---|-------------------|
|      |      |  | 実施状況   | 実施状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 40   | 15   | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている         | 外注にての提供ではあるが、季節感のあるメニューの提供を行っている。家族様の差し入れなどもあることから、楽しみながら食事をされている。 | 食事は外注による提供だが、季節に応じたメニューの工夫や時に、出前の寿司、おやつ、桜餅作りなど、楽しい食事の支援に努めている。                |                   |
| 41   |      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている              | 管理栄養士が居り、栄養バランスや利用者様一人一人に合った食事形態を提供している。                           |   |                   |
| 42   |      | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                       | 見守りや介助にて口腔ケアを行い、誤嚥性肺炎の予防に努めている。                                    |   |                   |
| 43   | 16   | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている       | 入居者様一人一人の排泄状況を把握し、定期的にトイレでの排泄を心掛けている。                              | 排泄は自立支援を基本に、個々の心身の状況やパターンを職員が共有し、可能な限りトイレでの排泄ができるよう支援に努めている。                  |                   |
| 44   |      | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる                       | 水分量の確認や乳製品の使用をし、病院と連携し必要に応じて下剤を使用しながら排便チェックを行っている。                 |   |                   |
| 45   | 17   | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている | 毎日、入浴できるような対応をしている。また、特殊浴槽を導入し安心して入浴できるように努めている。                   | 入浴支援については、毎日入浴可能な準備と共に、職員は個々の心身の状況や意向・タイミング等に配慮して、特殊浴槽の導入など、楽しい入浴となるように努めている。 |                   |
| 46   |      | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している                        | その時その時の状況に応じて安眠できるよう支援している。  |   |                   |
| 47   |      | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている                   | 服薬一覧表を作成し、確認・把握し、服薬チェックシートを活用しながら支援している。                           |   |                   |
| 48   |      | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている      | 利用者様に塗り絵や折り紙などやって頂いたり、季節の行事の飾り物などの作成や貼り絵などし、楽しみのある生活が送れるよう支援している。  |   |                   |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目   | 自己評価  | 外部評価   |                   |
|------|------|--|---|--|-------------------|
|      |      |  | 実施状況  | 実施状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 49   | 18   | ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している                     | 新型コロナの影響で受診以外は外出は自粛している。                          | 2年をまたぐコロナ禍の感染拡大傾向に併せて、利用者への配慮とともに、家族の面会も自粛要請と理解を得る等、外出支援が困難になっている。当面は、ホーム内活動中心の安全第一の対応に努めている。                      |                   |
| 50   |      | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している  | 預り金として職員が預かり、金庫で保管している。                           |  |                   |
| 51   |      | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている   | 利用者様の希望にて電話を使用されたり、手紙の代筆などさせて頂いている。               |  |                   |
| 52   | 19   | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 共用スペースには季節感を感じられるよう飾り付けをし、利用者様同士楽しめるような空間を提供している。 | 3階建総合的機能施設の2階がホーム。中心部は介護機能の諸設備を挟み、両脇に9つの居室が据えられ、1面はトイレ等併置の居室、共用居間等で構成されており、季節に合わせた飾り付けなどの配慮の下に、居心地の良い環境づくりがなされている。 |                   |
| 53   |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている  | 座席配置の工夫や、ソファを配置して利用者様が自由に過ごして頂けるよう工夫している。         |  |                   |
| 54   | 20   | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている   | 本人様の馴染みのある物を設置して頂き安心して過ごされるよう対応している。              | 個々の居室は、家族の協力を得て、馴染みの家具や置物などが配置されて、安心・安全な居心地の良さを醸している。  |                   |
| 55   |      | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している  | 利用者様の行動を理解し、安全かつ自立した生活が送れるよう努めている。                |  |                   |